



第2回定期考査を終えて

皆さん、高校生になってから2回目の定期考査でした。いかがでしたか？1回目の考査で点数が良かったためにサボってしまった人と、前回点数が悪くて今回がんばった人とは、同じ点数でも大きな差があります。一度自分に甘くしてしまったり引き締めるのは大変！まだ間に合います。高校の勉強は、自ら学ぼうとする意欲がないと、あつという間に置いて行かれてしまいますよ。皆さんの「自立」をわれわれは全力でサポートします！それでは各教科から反省点をいただいていますので、よく読んで次につなげましょう。

各教科からのコメント

教科	コメント・アドバイス
【家庭基礎】	学年平均は62.0点でした。範囲が広く、3つの分野からの出題でしたが、基本的な用語はしっかりと覚えてきた人が多い印象です。記述の問題で点差が開いたので、説明を求める問題では相手に伝えることを意識した解答を心がけましょう。今回厳しい点数だった人は、ファイルを丁寧にまとめることから始めてください。被服実習では、あらかじめ動画を見たり練習しておくことをおすすめします。
【現代の国語】	前回に比べると、時間配分を意識できたのか最後まで解ききれた人が多かったかと思います。また、配点の半分以上がマーク式での出題でしたので、そこに助けられた人もいたかもしれません。ですが、マーク式でも記述式でも、「文章を読んで」「自分の頭で考えて」「答えを導き出す」というプロセスは変わりませんし、この「自分の頭で考える」というのがとても大事です。「考える」ことから逃げずに、また、その考えた結果を「自分の言葉で説明できる」ように、授業を大事にしてほしいと思います。記述問題では、内容が合っても表現不備で減点された人もいました。後期は、「表現力」も磨いていきたいと考えていますので、高校生にふさわしい文章表現になっているかどうかを常に意識して取り組んでください。 そして、漢字の学習を軽視する人は、後で泣きを見ますよ…。しっかりやりましょうね。
【地理総合】	残念なことに、テスト範囲でもある動画ファイルを見ていない人がいます。同じくテスト範囲のデジタルワーク(ChromeBook 利用)を全部やっていない人がいます。これらの提出自体も評価の対象ですし、やっていないと解けないテスト問題もあります。なので、これらは必須事項です。教科書の太字の用語は、動画でも強調していますし、デジタルワークにも出てきているので、テスト(と将来の大学入試)に向けての必修事項です。できなかった用語については復習しておきましょう。あと、授業中のグループワークの際も、重要なことは自分でノートにメモしておきましょう。
【化学基礎】	今回のテストでは満遍なく出題しました。単元テストでは出題しなかったような問題も出題しましたが、出題される場所を読むのではなくすべて勉強する必要があったかと思います。次回からいよいよmolが中心になり8割は計算問題になると思います。mol計算は化学を学ぶ上で3年間使い続けるものになるため頑張りましょう！！
【保健】	平均72.1点でした。しっかり教科書のポイントを押さえていた人が結果を出していたように思います。全体的にノートをとる力のある生徒が多いので、ワークを繰り返すよりも、「授業で勝負！」という気持ちで、後からどこを覚えたらいいかノートに書きこみ、テスト前に見返すと良いのではないのでしょうか！来期は平均80点を目指せ！！

【英語コミュⅠ】	大学入試では多読が必要であるということ、授業ではなく自習の範囲を如何に取り組むかということが課題として浮き彫りになりました。英語が苦手な人ほど、Brainsの範囲を完璧にして確実に20点取ることも必要です。前回のテストは全クラス平均点が70点を超えていましたが、今回は残念ながら学年平均点は50点でした。次回以降に期待しています。
【数学A】	文章から図を書かせる形式の問題の正答率が低かった(予想通りですが)。自力で図を書く練習をたくさんしよう。形状よりもまず「互いの位置関係を正しく捉える」ことを重視してください。これは数学Ⅰで扱う関数のグラフにも通じます。 この「図形の性質」は存在感が薄くて忘れやすい単元ですが、復習もしやすく、受験においてはよい得点源となります(特に平面図形)。一度しっかりまとめておくといでしょう。
【情報Ⅰ】	令和7年より国立大学を受験する際は、大学入試共通試験で情報Ⅰの受験が必須となります。今回の定期考査でも共通試験を意識した問題を出題しました。結果としては「事前に連絡した自習用教材をどれだけ繰り返し学習したか」によって結果が大きく分かれたと思います。授業で連絡しましたが、今回、定期試験が70点未満の人については、課題を出しました。取り組みの有無を評価に反映します。定期試験が終わったから、良いではなく、今後の進路を意識して、もう一度問題を解き直し、学び直しをしておいてください。
【言語文化】	特に正答率が低かったのは「新明説総合古典文法」(文法書)の範囲と、用言の活用の部分でした。文法書に関しては取り組む時間が足りなかったのでしょうか。 用言の活用が頭に入りきっていない人は、今のうちが勝負です。古文の授業では助動詞の話も始まっていますし、漢文の授業もいざれ始まります。覚えなければいけないことを覚えていないと、点数が取れないだけではなく、古文や漢文の内容をしっかりと理解して読むことも難しくなり、どんどん言語文化がつまらないものになってしまいます。 「分からない」「覚えきれていない」をそのままにしないこと！大きな差になります！次回の模試・定期考査では高得点を狙えるよう復習しましょう！
【歴史総合】	前回よりも平均点は大きく落ちました。原因は要点ノート・研究ノートの復習不足ではないかと感じています。歴史に限らず、入試にはどうしても暗記事項が付きものです。どうすれば覚えられるのかを考えることも大事ですが、覚えるまで勉強することも大切だと思います。 自分ひとりでひたすらやるのではなく、たまには友達と問題を出し合い、競い合うのもよいかもしれません。ぜひ、いまのうちから自分なりの勉強法を確立して行って欲しいと思います。
【論理・表現Ⅰ】	第2回のテスト範囲はとても少なく、勉強には取り組みやすかったはずですが、それにもかかわらず、平均点が前回を下回る結果でした。Brainsの「中級英語・前編」のLesson4&5も範囲でしたが、中にはその取り組みが0%という人も…文法問題はつまらないという人もいますが、数学などと同じで、一番の基本で躓いてしまうと後からは取り返しがつかなくなります。ぜひとも丁寧な取り組みを期待します。 模試結果についても、一言。7月模試は各家庭での受験となり、リスニングを選択できませんでした。大問2の会話問題はリスニングよりも点数を取れる人が多いです。授業で過去問のリスニングに取り組んだ人は少し実感してもらえるでしょうか？そのことを知っててください。3年生になってから「リスニング力」をあげたいと思って苦勞します。1年時から「耳」を鍛えましょう。
【数学Ⅰ】	問題はほとんど教科書の例題、4STEP から出題しました。しかしできていない人がほとんどでした。問題をしっかりと読んでいない人も多かったです。必要な計算をかくこととなっているのに答えのみを書いている人がたくさんいました。試験に向けて臨時休校や暑さで十分な準備ができなかったという事情もあるかもしれませんが、それを差し引いても学習時間が足りません。今回満足いかない点数だった人は自分なりに目標を立て、その目標を達成するにはなにが必要かをはっきりさせ、必要なことがわかったらそれを効果的にやるためにはどうしたらよいか考え、実行してください。まだ取り返せます。これが1年後、2年後となると…